

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

事業所					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	ご利用者が自由に外出して頂ける環境を提供するに当たり、認知症の進行や高齢化に伴った事故のリスクが高くなっている。	その方らしさの思いと望みに沿った支援に努める。	①リスクマネジメントを踏まえ、玄関設置のチャイム音での状況確認と、事業所職員及び法人の他部署との連携を密に取り、見守りの継続をする。 ②外出前の声掛けを実施し、外出後はGPS探知機を活用し、安全な外出ができるように配慮する。	12ヶ月
2	2	地域に於いて、併設されている「特別養護老人ホーム寿荘」は、馴染みがあるが、「グループホーム真愛の家 恵の里」単体での交流が少ない。	利用者様(事業所)が、地域と繋がりを持ち、共に生活できるように努める。	①年間2～3回の事業所の広報誌を作成し、近隣に回覧し情報発信をする。また、その際にボランティアを募る。 ②近隣の方へ行事のお知らせと参加を呼び掛ける。 ③認知症相談窓口の開設を継続することで、地域に密着した事業所を目指す。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。